

新型コロナウイルスを 1分間で^{※1}99.9%不活化

ウイルスや菌による感染拡大を防ぐ、MedCuの酸化銅不織布

※1 測定環境、測定対象で異なります。米国ネブラスカ大学メディカルセンター、国立戦略研究所 検証



様々なウイルスに
強い！



速く、半永久的な
抗菌・抗ウイルス効果



人体にも安心・安全
FDA認可



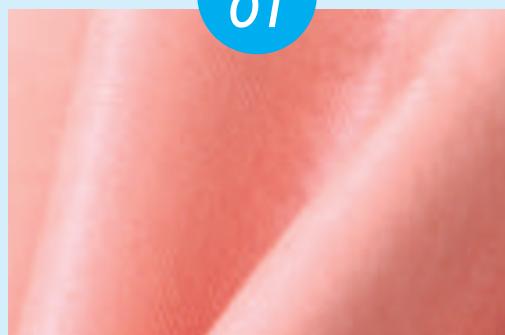
世界中に
30件の特許

MedCu社の酸化銅不織布の特徴

MEDCu

MedCu社の酸化銅不織布は、コロナ、インフル、SARS、MERS等のウイルスを不活化することができる酸化銅微細粒子を埋め込んだ最先端の医療素材です。同社は先端技術大国イスラエルの企業です。世界で初めて不織布に対し酸化銅微細粒子の埋め込みに成功し、現在、世界中に30件の特許を有しています。

POINT
01



様々なウイルスを不活化する、
最先端の医療素材

コロナ、インフル、SARS、MERS等のウイルスを不活化する、医療用はじめ様々な分野で注目の最先端の素材です。酸化銅不織布の有効成分「亜酸化銅」の微細粒子は、生地全体に均一に半永久的に埋め込まれています。

POINT
02



ご家庭でも安心して使用いただける、
人体にも安全な素材

酸化銅不織布は、様々なウイルスの不活化・細菌の抗菌を行います。人体に対する安全も確認しています。酸化銅微細粒子は、生地全体に半永久的に埋め込まれているので、銅の溶出がなく、ご家庭でも安心してご利用いただけます。

POINT
03



世界中に30件の特許取得、
FDA認可の高い安全性

イスラエルの研究者により医療用創傷包帯用として開発され、現在、世界中で30件の特許を取得しています。さらに安全性については、米国FDA、欧州CE、独TÜVの認可取得済です。

さまざまな場面で活躍する酸化銅不織布



▲ 類似品・模造品にご注意ください

着色したものや抗菌性の低い類似品、またMedCuの名称を騙った模造品の報告が製造元より寄せられています。購入に際してはご注意くださいようお願い申し上げます。

実証データ

✓ ウイルスや菌が99～99.99%不活化された事が確認されています

国内でも
確認済み

効能	試験した有機体	結果	検証を行った研究所
抗ウイルス性	SARS-CoV-2(新型コロナウイルス)	1分間に99.9%不活性化	University of Nebraska Medical Center National Strategic Research Center
	その他の12種類のウイルス (インフルエンザほか)	数分以内に99～99.99%不活性化	Microbiotest社/細菌研究所 (米国バージニア州)、 抗ウイルス研究所 (米国ユタ州)
抗菌性	グラム陽性細菌	30分間で99.9%以上不活性化	AminoLab社 (イスラエル)、Cupron社 (米国)
	グラム陰性細菌	30分間で99.9%以上不活性化	AminoLab社 (イスラエル)、Cupron社 (米国)
抗真菌性		2時間以内に99.9%以上不活性化	AminoLab社 (イスラエル)、Cupron社 (米国)



鹿児島大学大学院理工学研究所
隅田研究室において、抗ウイルス
酸化銅製品の有効性を示唆する
データが得られております。

✓ 各試験で安全性が確認されています

試験	規格	結果	研究所
細胞毒性 (細胞培養, GLP*)	ISO 10993-5	細胞毒性なし	Namsa社 (米国)
皮膚刺激 (ウサギ, GLP)	ISO 10993-10	刺激反応なし	Namsa社 (米国)
皮内反応性 (ウサギ, GLP)	ISO 10993-10	反応性なし	Namsa社 (米国)
急性全身毒性 (ネズミ, GLP)	ISO 10993-11	急性毒性なし	Namsa社 (米国)
皮膚感作性 (モルモット, GLP)	ISO 10993-10	皮膚感作なし	Namsa社 (米国)
慢性毒性試験 (ブタ, GLP)	FDA Protocol	慢性毒性なし	Namsa社 (米国)
発熱性 (ウサギ, GLP)	ISO 10993-11	発熱性なし	Namsa社 (米国)
純度 (誘導結合プラズマ, GLP)	ISO 10993-18	高純度	Namsa社 (米国)
溶出 (動的光散乱)	FDA Protocol	微粒子の溶出はまったく認められず	Scientific Solutions社 (イスラエル)
徹底的な抽出 (FTIR, GC-MS, ICP-OES, UPLC-MS, GLP)	ISO 10993-18	不純物や有害物質は抽出されず	Namsa社 (米国)
細菌内毒素 (LAL)	ANSI/AAMI ST72:2016	細菌内毒素なし	AminoLab社 (イスラエル)
呼吸中の銅の溶出 (GLP)	FDA Protocol	しきい値の105倍低い値	NelsonLabs社 (米国)
模擬唾液への溶出 (GLP)	FDA Protocol	銅への経口暴露の4倍以上低い最小リスクレベル	NelsonLabs社 (米国)

※研究論文・データについては、ホームページ (<https://vlocks.jp>) をご参照ください

*GLP – Good Laboratory Practices (GLP) 基準に基づいて実施 *SEKマーク取得予定